

市民からのお便り 暖かくなってきたので、キュウリやナス苗などの植え付けをはじめます。成長していく姿が楽しみです。

親子クイズ 504

Q 県立のいち動物公園のアフリカサバンナゾーンのスナップです。何頭の動物がいますか？



【第503回解答】

- ①霜 (しも)
- ②霜柱 (しもばしら)
- ③氷柱 (つらら)
- ④雹 (ひょう)

【第503回当選者】

- 門田 幸子 (久礼田)
- 高島 君江 (田村甲)
- 高田 拓 (篠原)
- 筒井 仁司 (大埴甲)
- 林 紫野 (小籠)

■応募締切／5月14日(水)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大埴甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係
*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に
図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／52通 ★正解率／88%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

40 人権学習シリーズ



朝の混み合ったバスに赤ちゃんを連れた母親が乗っていました。赤ちゃんが泣き出し、母親が必死にあやしますが泣きやみません。周囲の何人かが迷惑そうな視線を向けており、居たたまれなくなりました。母親が途中下車しようとした時、その様子を見たバスの乗務員が車内放送を使ってこう言いました。「赤ちゃんが泣くのは当たり前前のことですから、降りなくていいですよ」この乗務員の一言で、車内は「赤ちゃんが泣いたりぐずったりするのは当たり前前」であるという雰囲気になり、その場が和みましました。すると、赤ちゃんも泣きやみ、親子は目的地まで無事にバスを利用することができたそうです。赤ちゃんを連れた母親には、周囲に迷惑を掛けてしまわないかと緊張している人も多く、その母親の緊張や不安が伝わった赤ちゃんが泣き出してしまいうことも、よくあることです。そんな時に、この乗務員のように親子の様子を温かく受け入れてくれる人がいることで、母親はどれほど救われることかかもしれません。

長時間泣きやまない赤ちゃんが近くにいたら、早く泣きやまないかなといら立ってしまうかもしれません。体調やその場の状況によって、そんな風に感じてしまうこと

「あたたかく受け止める」

ともあると思います。しかし、そこで迷惑そうな視線を向けるのではなく「赤ちゃんも緊張してるのかな？大丈夫だよ」などと声を掛けることができたらずてきたなどと思います。

母親や父親だけで子育てするのではなく、地域や社会全体で温かく見守り、ときにはお手伝いできればと思います。また、子育てする親世代が素直にSOSを言葉や行動に表すことができ、それをやさしく受け止め、寄り添うことができる地域や社会にしていきたいです。

※このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
(☎880・6569) まで

歌うことが私の力



さわむら のりお
沢村 規夫さん (十市)

3月にNHKのど自慢チャンピオン大会に出場しました。紅白歌合戦の会場でもあるNHKホールで、3千人の観客を前に歌ってきました。ステージに立っている自分に不思議な感じがする、そんな一生に一度の体験でしたが、介護福祉士の仕事をしていますが、利用者さんの前でも歌うことがありますが、「癒やされる」「ありがたう」などの感謝の言葉をもらうと気持ちが温かくなりますね。

歌うことはいつでも私の力になり、たくさんの人とつながりてくれます。音楽活動はずっと続けていきたいですね。

「高知市のアーケード内で路上ライブもしています」と沢村さん。今度ぜひ聴かせてください。

ライブができるパン屋



にしおか ようすけ
西岡 洋輔さん (岡豊町中島)

久礼田でパン屋を営んでいます。以前に働いていた職場でパンを作る機会があり、それがきっかけでパン作りにはまりました。今はまだ開店してから間もないので、試行錯誤の毎日です。趣味は、中学生のころから続けているギターです。パン屋の仕事は朝早くから始まりますが、仕込みの間など、空いた時間には常にギターを弾いています。将来、閉店後にライブができるパン屋にしたいという思いがあり、店舗の設計には普通のパン屋にはないこだわりの詰め込んでいます(笑)。ぜひご来店を！

ギターの話をしている時の目の輝きが印象的でした。お店イチ押し「塩パン」はとてもおいしかったです。

なんこく歴史散歩 第18回

平安時代後半になると、貴族が支配する時代から、武士が活躍する時代へと変わっていきます。その先駆けとして、土佐で起こった源平合戦の伝承を紹介します。

源希義は、鎌倉幕府を開いた源頼朝の弟です。平治の乱で父義朝が殺されたため、土佐の国介良の庄(現在の高知市介良)に流されました。

寿永元(1182)年、兄頼朝が伊豆で平氏追討の兵を起こすと、希義もこれに応じて立ち上がりました。しかし、土佐は平家の勢力が強く、同志の夜須七郎行宗を頼って夜須へ向かうとします。途中、篠原の里まで来た時、喉が渇いたため、近くの百姓からカシワの葉ですくった水を飲ませてもらいました。この場所(現在の東工業高校の南)には柏水という泉があり、以前はこんこんと水が湧いていたそうです。

その後、平氏による追撃を受けた希義は、年越山の西方(岡豊町小籠)で愛馬を失いますが、現在その場所には、馬塚という地蔵が鎮座しています。その後の奮戦のかいもなく、希義は現在の鳶ヶ池中学校の校門の北で息絶えました。

土佐の源平合戦 「源希義ゆかりの史跡」



源希義戦死伝承之地

※お問い合わせは
生涯学習課文化財係
(☎880・6569) まで